

福島県昭和村



交流・観光拠点施設

喰丸小

[くいまるしょう]

Open 9:00-17:00

Closed 12/29-1/3

Facebook



〒968-0212

福島県大沼郡昭和村喰丸字宮前1374

昭和村役場 観光交流係

電話: 0241-57-2124

Instagram



喰丸小について

旧喰丸小学校

2018年春にオープンした昭和村の交流・観光施設 喰丸小。築80年を超える木造校舎はどこか懐かしく、訪れる人々を童心に帰らせてくれます。「喰丸小」の名前の通り、ここはかつて100人以上の児童が通っていた小学校でした。しかし村の過疎化が進むにつれ児童が減り、小学校は1980年に閉校してしまいます。



改築前

取り壊しを免れて

閉校後、校舎は取り壊される予定でした。その危機から救ったのは、文化人類学者の山口昌夫教授と、映画監督の坪川拓史氏です。

まず1992年、山口氏は「田舎からの文化情報発信基地」と銘打ち、旧喰丸小学校を「喰丸文化再学習センター」として利用し始めます。シンポジウムやコンサートが開かれ、村外から多くの文化人が招かれました。



山口昌夫氏、旧喰丸小学校玄関前にて

しかし2006年にその活動が終わってしまうと、再び村では取り壊しの予算が組まれます。そんな折に、坪川監督がこの木造校舎に惚れ込み、ここで映画「ハーメルン」を撮ることを決めました。2009年冬のことで、再び取り壊しは延期となったのです。2012年に映画撮影が終わると、地元の人たちは毎年秋に校庭で、「イチヨウ祭り」というイベントを開催し始めました。映画が2013年に公開されると、取り壊し中止を求める署名活動も始まります。



「ハーメルン」撮影風景

銀杏の木とともに

2015年、ついに村は旧喰丸小学校を保存することを決定しました。改修工事にはクラウドファンディングも利用され、村内外から多くの寄付が寄せられました。また改修後の施設名が公募・投票により「喰丸小」に決まりました。

昔の姿を残しながら新しくなった喰丸小は、秋に美しい黄金の絨毯を生み出す銀杏の木とともに、村と村を訪れる人々を結ぶ交流の場として人々に愛されています。

部屋使用料金表（税込・村民無料）

部屋はどなたでもご利用いただけます。
詳細はスタッフまで。

使用料一室一回につき	超過料金	冷暖房費
9:00 - 12:00	¥1,100	¥275/h
13:00 - 17:00	¥1,100	¥275/h
17:00 - 21:00	¥2,200	¥550/h
		使用料の20%

館内案内



1. 音楽室
設備：黒板 / エアコン / スポットライト / オルガン / スクリーン

📷 - 窓越しに見るイチヨウの木は必見



2. 教室
昔懐かし再現教室
設備：黒板

📷 - 生徒になりきって、手をあげて！



3. 図書室
設備：黒板

🔍 - 卒業制作の絵。先生の似顔絵や立体的な日本全図があります

2本の銀杏の木は...

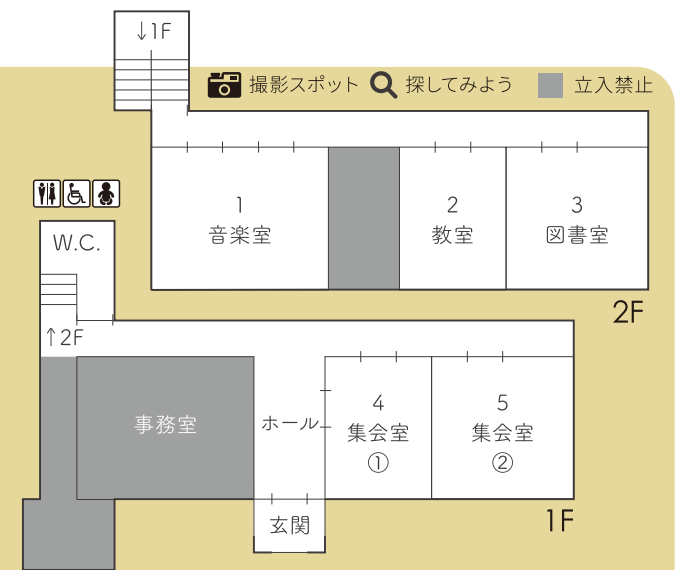
樹齢、なんと120歳以上！坪川監督はギリシャ神話に出てくる親切な老夫婦になぞらえて、「パウキス」と「ピレーモン」と名付けました。…でも、実はどちらも雌株なんです。秋になるとたくさんのぎんなんを落とします。

なるべくそのままの姿を残すために...

窓ガラスの一部は改修工事前からのものが使われています。昔の窓ガラスは表面が波打っているんですよ。



改修工事の時、柱のいくつかは根元が腐っていました。腐った部分は取り除かれ、新しい木材とボルトなしで継ぎ合わされています。



4. 集会室①
設備：エアコン / スポットライト / キチネット

🔍 - 生徒の絵に潜む宇宙人
- 勤務時間割表。冬と夏で違うんです

5. 集会室②
設備：黒板 / エアコン

- “勉強の仕方”が書かれた板。よく読むと面白いですよ



四季の花

校舎のまわりでは、秋の大銀杏の紅葉だけでなく、季節の花々も楽しめます。



桜の古木



ネムノキの花（夏）



カフェ

蕎麦カフェSCHOLA [スコラ]



新校舎が居心地のよいカフェになりました。
銀杏と田んぼ、山々が織りなす美しい景色を眺めながら、
コーヒー片手にほっと一息。
昭和村産の蕎麦粉を使った打ち立て蕎麦とガレットが楽しめます。
日替わりの手作りケーキもおすすめです。



Open: 11:00-14:30
(ラストオーダー14:00)

定休日: 日・月曜日
(臨時営業・臨時休業あり)

電話: 080-6657-3381



訪問記念スタンプ

